



1



2

3

立神相撲

①寒さも吹き飛ばす好取組をみせる子どもたち
②餅つきをする宮下純一さん ③子どもの健やかな成長を願い行われる「赤ちゃん土俵入り」

立神地区に伝わる正月の伝統行事「立神相撲」が1月3日、駒場公園相撲場で行われました。小・中学生や一般から約100人が出場し、公民館対抗による団体戦や青年大関を決める十六番勝負、つきたての紅白餅の振る舞いなどがありました。

当日は、テレビ番組収録のため北京オリンピック競泳銅メダリストでタレントの宮下純一さんも参加。地元力士と取組をするサプライズなどもあり、市民とふれあひながら会場を大いに沸かせていました。



【カツオの初セリ】 鰹節の原料となる冷凍カツオの初セリが1月4日の早朝、枕崎漁港で行われました。セリが始まると、会場では威勢のいいかけ声とともに、入札札が飛び交っていました。



【十日蛭子祭】 1年の豊漁と航海の安全を祈願する十日蛭子祭が1月10日、台場公園にある蛭子神社で行われました。色とりどりの奉納旗が立つ中、多くの漁業関係者が出席し、厳かな雰囲気の中で神事が行われました。

火の神太鼓保存会 初打ち会

火の神太鼓保存会による初打ち会が初日の出とともに行われました。この初打ち会は平成9年から行われており、毎年多くの観客が訪れる恒例行事になっています。

夜明け前まで降っていた雨も、日の出の時刻には上がり、雲の隙間から太陽が顔を出すと観客から大きな歓声が上がりました。それぞれが太鼓の響きを感じながら、初日の出を拜んでいました。



【火之神公園から望む初日の出】 当日は、あいにくの雨模様。しかし、初日の出を拝もうと訪れた多くの人たちの願いが通じたか、太陽が雲の隙間から顔を出し、海や空を黄金色に染めました。



2013

新春行事

Photo Snap



ハマテゴ



転がるダイダイに矢を放ち、悪魔ばらいをすることで1年間の無病息災を願う子どもの正月行事「ハマテゴ」が1月2日、小江平公民館で行われました。子どもたちは緋の着物を身にまとい、大人たちが手作りした竹製の弓矢を使います。狙いを定めて矢を放つたびに「惜しい」、「刺さった」と大人も子どもも矢の一本一本に一喜一憂していました。

見事にダイダイを射止めると、矢を高々と掲げ「テゴテゴ」と元気に勝ちどきを上げていました。